

新年に寄せる思いと

おめでとうーを力に

多久市への期待

2012年の新年にあたり、各分野でご活躍され、表彰を受けられた方に登場していただき、その成果と喜び、その歩みや年頭の思い、多久市への期待などを語っていただきました。

孔子様の教え『論語』の言葉で「学びて時に之を習う 亦また 説よろこばしからずや」という一節があります。これは、学んで練習するとすっかり自分のものになってくるので、とても嬉しいという意味。そんな論語の一節を実践して、自己研鑽や社会貢献に努力されている方のメッセージが、みなさんや多久市の活力となりますように!!

多久市助役など長年にわたる功績が認められ2011年秋の叙勲「瑞宝双光章」を受章。

昭和23年1月当時の西多久村役場に入り、昭和29年5月から31年間多久市職員として勤務しました。昭和61年から平成元年まで多久市収入役として、同年10月から平成9年まで多久市助役として務めました。昭和29年5月に合併し、多久市が誕生しましたが、当時は炭鉱が盛んな頃で、合併事務局にいて「炭都多久市」をめざしていたのを懐かしく思い出します。

この受章は、多くのみなさんのおかげと感謝しています。私にとって初代市長の吉木市長から現在の横尾市長まで、8代の市長のもとで働けたことが、一番の幸せです。

今は天気の良いときに、健康のためゲートボールに参加することが楽しみで、近くの畑で農作業もしています。元気で自分のことは自分で出来たら良いと思っています。今後とも多久市に企業が来て人口が増えればと願っています。

▶ゲートボールを楽しむ鳥井さん



とりいきょういち

◆鳥井強一さん（西多久町山口）



2011年度第9回創造アイデアロボットコンテスト佐賀県中学生大会で、3部門中優勝2部門、準優勝、3位に輝き、九州大会にも出場。

僕たち東部中3年生12人は、選択技術の授業でロボット製作をしています。4月から授業の中で、大串隆祥先生からロボットの設計・製作やアイデアを教えてもらい、9月から製作に取りかかりました。

佐賀県大会では「授業内部門」「応用部門」「九州オリジナル部門」に東部中から6チーム参加しました。4月に今年の競技のルールが発表され、「授業内部門」のテーマは「お掃除ロボット」です。準優勝した『こまーつ号』、3位の『お掃除君』は60秒以内にゴミをお掃除するように完成させました。

「応用部門」のテーマは「商品陳列」です。優勝した『しわけ号』は、木の実に見たてたボールをすばやく取り棚に並べます。アームの改良が難しかったです。「九州オリジナル部門」で優勝した『ペニーレイン号』は、60cmの大型ロボットで、1.8m以上離れた場所に牛乳パックを並べることができます。自律制御のロボットプログラムを入力するのが難しく、1か月ぐらいかかりました。九州大会の「九州オリジナル部門」でも3位入賞しました。

設計はメンバーで話し合い、1週間に1時間の技術の時間だけではできないので、昼休みや放課後、早朝に来て作り、完成したのは大会の1週間前。アームを延ばす部分などは試合の朝まで改良をしました。

自分たちのロボットで勝ててうれしいし、九州大会に出場した県内11チームのうち4チームが東部中から出場でき光栄です。

佐賀県代表としてしっかり頑張ってきました。卒業後も学んだことを生かせる高校に進学し、技術を生かせる仕事がしたいです。

（お話は、部長の内田翔太さん）

◇東部中3年選択技術のみなさん

大型ロボット『ペニーレイン号』の前で▶選択技術のみなさんと大串隆祥先生

